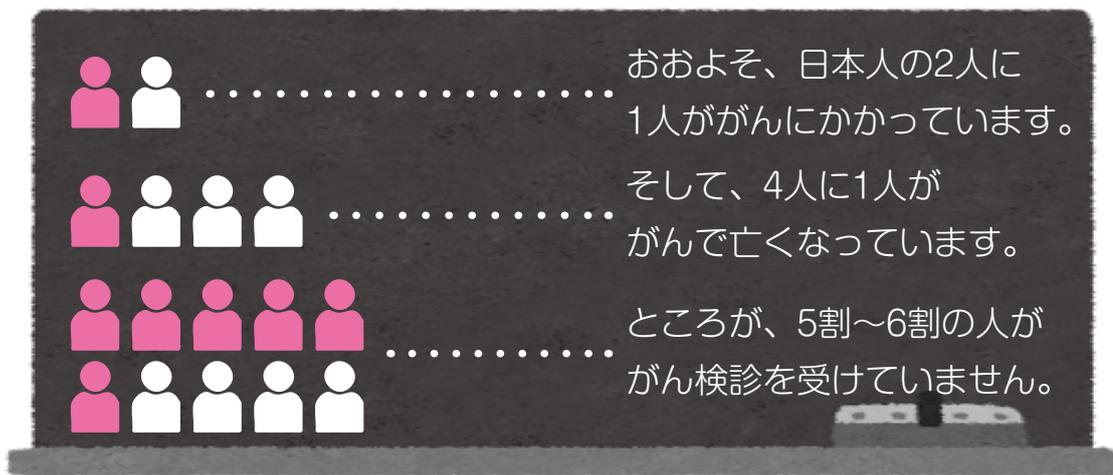


元気でも「もしも」のために がん検診を受けましょう！



がんは早期発見・早期治療することで、治すことができる病気です。
早期発見するために、がん検診を受けましょう。



胃がん検診

男性に多い傾向があり、50歳頃から増加します。ピロリ菌の感染や喫煙などの関連が報告されています。



こんな人は要注意

- 塩分をとりすぎている
- たばこを吸う
- 野菜、果物をあまり食べない

個別検診のみ

検査方法について

①胃内視鏡検査

胃の中を直接観察する検査です。口または鼻から内視鏡を挿入して調べます。

50歳以上

2年に1回



②バリウム検査

バリウムと発泡剤を飲み、エックス線で胃の形や粘膜を観察します。

40歳以上

1年に1回



大腸がん検診

40歳以上

1年に1回

やや男性に多い傾向があり、30歳代前半から増え始めます。患者数は増加傾向にあり、女性ではがん死の原因の1位になっています。



こんな人は要注意

- お酒が好き
- 赤身肉・加工肉が好き
- 太っている
- たばこを吸う

検査方法について

便潜血検査

便の中に含まれる血液を探り、血液が混ざっているかを調べる検査です。この検査だけでは、大腸がんがあるかどうかはわかりません。陽性と判定された人は必ず精密検査を受けるようにしてください。





子宮頸がん検診

20歳以上

2年に1回

ヒトパピローマウイルス（HPV）の感染が関連しており、年間約1万人がかかります。30～40歳代に多いがんですが、近年では20歳代でも増加しています。



こんな人は要注意

- 性交経験がある
- たばこを吸う

検査方法について

細胞診検査

子宮頸部の組織を採取し、がん細胞の有無やその種類を調べます。

月経中は十分な検査ができません。月経終了後3～7日の受診がよいと考えられています。



予約受付中

集団検診の予約について

【方法1】電話予約

☎738-3813

(保健福祉センター)

【方法2】WEB予約はこちら→



※今年度の肺がん検診は終了しました。検診をご希望の方は下記の個別検診を受診してください。

個別検診の予約について



左記の二次元コードより、実施医療機関を確認し、直接、電話で予約してください。

※2年に1回の検診は、令和7年4月1日現在、偶数年齢の方が対象です。

問＝健康増進課 ☎738-3813



乳がん検診

40歳以上

2年に1回

30歳代から増えはじめ、50歳前後の発見がもっとも多いがんで、日本人女性の約9人に1人がかかります。



こんな人は要注意

- 早い初潮、遅い閉経
- お酒が好き
- 受動喫煙の機会が多い
- 出産・妊娠歴がない
- 授乳歴がない

検査方法について

マンモグラフィ検査

乳房専用のエックス線撮影です。視触診では発見できないしこりを診断できます。

できるだけ平らにして撮影するため、多少の痛みがあります。



肺がん検診

40歳以上

1年に1回

もっとも死亡者数の多いがんです。そのため、検診による早期発見が非常に重要です。肺がんの最大のリスクはたばこです。



こんな人は要注意

- たばこを吸う
- 受動喫煙の機会が多い

検査方法について

胸部エックス線検査と喀痰検査

胸部エックス線検査では、肺全体をエックス線で撮影します。問診の結果、医師が必要と認めた場合、

喀痰細胞診を実施します。痰を採取し、そこに混入するがん細胞の有無を調べます。

